

「和食文化を“伝える・広げる”

—あおもり食命人の食・京のだし—

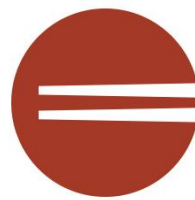
11月24日は「和食」の日。

日本人の伝統的な食文化について見直し、和食文化の保護・継承の大切さを考える日です。

日本は海・山・里と豊かな自然に恵まれ、多様で新鮮な旬の食材と、うまみに富んだ発酵食品、米飯を中心とした栄養バランスに優れた食事構成をもつ、「和食」の文化があります。

日本の食文化にとって大変重要な時期である秋の日に、毎年、一人ひとりが「和食」文化について認識を深め、和食文化の大切さを再認識するきっかけの日となっていくように願いを込めて、

11月24日を“いいにほんしょく”「和食」の日と制定しました。



いいにほんしょく
11月24日は
「和食」の日



私たちの食文化を守り、育て、そして明日へ繋げていくには、まず知ること、そして実践してみること。京都と青森それぞれの料理人による本物のだしを味わいながら、日本の食文化を考えてみませんか？

参加無料

日時：平成27年11月23日（月・祝）13:00～15:30（12:30 受付開始）

場所：青森国際ホテル 2階 春秋の間（青森市新町1-6-18）

内容：

基調講演「和食文化を“広げる・伝える”」

講師：伏木亨氏（一般社団法人和食文化国民会議会長代行・同普及啓発部会長）

パネルディスカッション「あおもり食命人の食・京のだし」

コーディネーター：伏木亨氏

パネリスト：浪内通氏（「日本料理 百代」料理長）

高橋拓児氏（京料理「木乃婦」三代目主人）

だしの試飲あり（青森のだし：浪内氏／京のだし：高橋氏）

定員：150名

参加申込方法：青森県食の安全・安心推進課まで電話又はファックスでお申し込みください。

定員に達し次第、締切りとさせていただきます。

（※ご参加いただけない場合のみ、電話連絡いたします。）

申込締切：11月13日（金）

「一般社団法人 和食文化国民会議」とは

「和食-日本人の伝統的な食文化」のユネスコ無形文化遺産登録申請を契機に、和食文化を次世代へ継承するため、その価値を国民全体で共有する活動を展開している団体です。

あらゆるシーンで日本の食を支える生産者、食品メーカー、フードサービス、観光業などの様々な企業・団体、そして地域の郷土料理保存会や食育団体・NPO・料理学校などの食にかかわる団体、地方自治体、個人のみなさまなどのご参加をいただき、運営を行っています。

講師・パネリスト略歴



伏木 亨（ふしき とおる）氏

滋賀県出身。1994年より京都大学院農学研究科教授。2015年より龍谷大学農学部教授。2014年、紫綬褒章受章（栄養科学研究）。

現在、公益社団法人日本栄養・食糧学会代議員、一般社団法人日本香辛料研究会会長、（一社）和食文化国民会議会長代行及び同普及啓発部会長を務める。

専門は食品・栄養化学。おいしさの脳科学、自律神経と食品・香辛料、運動と栄養、舌での脂肪の受容に関わる機構に関する研究、おいしさや満足感・執着・嫌悪感などを栄養生理学的側面や脳科学的側面からの解析のほか、個別の食材、特に、脂肪やだし、酒類のおいしさに関するメカニズムについて研究している。

『コクと旨味の秘密』（新潮新書）、『人間は脳で食べている』（ちくま新書）、『味覚と嗜好のサイエンス』（丸善出版）など、著書多数。



浪内 通（なみうち とおる）氏

青森県出身。地元の食材を使った懐石料理の店、「日本料理 百代」料理長。青森青庖会会長。1998年第青森県卓越技能者表彰受賞、2004年全国技能士会連合会マイスター認定。2013年8月「あおもり食命人」に登録。

食材を探しに行った漁港で、邪魔者として捨てられていた“ふじつぼ”を持ち帰り調理法を考案。青森の新鮮な海鮮食材『七子八珍』の一つに育て上げ、食べる人を魅了している。



高橋 拓児（たかはし たくじ）氏

京都府出身。京料理「木乃婦」三代目店主。NPO法人日本料理アカデミー海外事業副委員長。

大学卒業後「吉兆」で修業、日本料理の神髄を学ぶ。伝統的な日本料理を基本としながらも、フランス料理や分子化学の理論など最新の技法を積極的に取り入れた新しいスタイルの日本料理は、業界を代表する若手シェフとしてマスコミも注目。

また、シニアソムリエや利酒師の資格を持ち、日本酒の他、ワインにも造詣が深い。

【主催】一般社団法人 和食文化国民会議 【後援】青森県

【お問合せ・お申込み】青森県農林水産部食の安全・安心推進課 藤田・藤村

TEL：017-734-9354 FAX：017-734-8086

〒030-8570 青森市長島 1-1-1

HP <http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/sanzen/syokumeijin.html>

※FAXの方は、この面を送信してください（FAX：017-734-8086）

◆「和食の日」特別企画(11/23) 参加申込書◆

名前	
連絡先電話番号	
お住まいの市町村名	

